



令和3年（2021年）1月29日

立科町立 立科中学校生徒会が シトラスリボンプロジェクトの輪を 全校に広げる活動を実施します

新型コロナウイルス感染症の拡大が未だ続く中、シトラスリボンプロジェクトが全国的に広がっています。立科町立立科中学校生徒会も、この活動に賛同し、コロナ禍における人権について、生徒一人ひとりが、相手に対して思いやりのある優しい気持ちで接することができるよう、啓発を進める準備をしています。2月の生徒集会では、生徒会役員がシトラスリボンの意味を周知し、生徒同士で教え合い、全校でリボン制作する活動を実施します。

1 目的

生徒の家族や周囲の人には、医療従事者や、県をまたいで移動することが避けられない職種の方たちも少なくありません。いつ誰が感染してもおかしくない今の状況において、生徒たちは、感染症に対する正しい知識を持つことが大切だということを学んでいます。その学びの中で、立科中学校生徒会役員は、長野県、立科町をはじめ、多くの事業所が賛同している「シトラスリボンプロジェクト」のことを知り、生徒会でもこの活動に賛同し、全校生徒に広げることを発案しました。現在、次の生徒集会において、生徒会が全校生徒に啓発する準備を進めています。

また、生徒会の目的は、全校生徒にこの活動を広める事ですが、全校生徒がリボンを作り、リボンを各家庭に持ち帰ることで、生徒の家族にもこの活動が広がるのではないかと考えました。立科中学校から各家庭に活動が広がり、さらに町内全体にシトラスリボンの思いやり輪が広がっていけばと思います。

2 生徒集会における啓発活動について

開催日時 令和3年2月3日（水）午前8時20分～8時50分（生徒集会）
場所 立科町立立科中学校（北佐久郡立科町大字芦田 3265-1）
対象 全校生徒
方法 朝の生徒集会（校内テレビ放送）において、生徒会三役が「シトラスリボンプロジェクト」の概要を説明し、リボンの作り方を周知します。各教室に待機している生徒会役員の生徒が、各教室でリボン制作を補助し、生徒が生徒にシトラスリボンを広める活動を実施します。



立科町マスコット
キャラクター
しいなちゃん

立科町公式ウェブサイト <http://www.town.tateshina.nagano.jp>

立科町立立科中学校（校長）青木辰夫（担当）仙臺智子
電話：0267-56-1076（代表）FAX：0267-56-1976
立科町教育委員会 社会教育人権政策係（課長）市川正彦（担当）芝間雅
電話：0267-88-8416（直通）FAX：0267-56-2310
E-mail：kyouiku1@town.tateshina.nagano.jp